



農作業メモ

お問い合わせ先
大里農林振興センター 農業支援部
熊谷市久保島1373-1
TEL. 048-526-2210 FAX. 048-526-2494



熊谷市の令和7年産の小麦栽培では冬季乾燥が顕著となり特に11月下旬以降のは種で水分不足による出芽の遅れやムラが多く発しました。早春になつても条間の地面が見えるほど小麥の繁茂量が少なかつたため、土壤処理除草剤の効果が切れてくる2月中下旬以降の降雨で雑草が多発しました。

多発生種はカラスムギ、ネズミムギ、スズメノテツポウ、コアカザ、ヤエムグラ、ミチヤナギ、スカシタゴボウ、カラスノエンドウなどです。

熊谷市の小麦栽培における雑草対策

1 前年の小麦作での雑草発生状況

2 近年の傾向から考える対策

上記に問題雑草別のお勧め防除体系を示しました。大規模経営ほど除草失敗後の軌道修正が困難です。発生種に応じた適切な剤選択を心がけましょう。

なお、茎葉処理剤のMCPソーダ塩は散布時期次第では小麦の生育を抑制するため、適切な時期（茎立期23～17日前頃）での散布が必要です。

茂量が多く、雑草防除の観点から有利です。

3 小麦の除草対策にナタネ栽培

小麦自体もイネ科であり、イネ科雑草を全て枯殺する除草剤は使ません。特に、湛水できない畠ではカラスムギやネズミムギ等が蔓延しがちです。

発生前や初期の雑草に効くトレファノサイドは、2～3月頃にも散布できる土壤処理剤です。春になつても小麦の繁茂が少ない場合は特に散布をお勧めします。小麦栽培終盤に発生するヒエにも効果が期待できるため、水稻のヒエ対策にも有効です。

度散布して耕うんすると、雑草種子の休眠覚醒効果があり、雑草が一斉に発芽してくるため、1か月ほど後に耕うんで除草すると雑草発生をかなり減らせます。この場合、基肥窒素は省略できます。

茂量が多く、雑草防除の観点からは有利です。

3 小麦の除草対策にナタネ栽培

大里農林振興センター
農業支援部